

グランディ 2 1 ボランティア 構想

キックラブ・アクティブ 2002/11/1 修正版

2002年ワールドカップの舞台となった「宮城スタジアム」、そこが県民・市民により身近な場所となり、さまざまな交流の場となるよう、施設の活用、人の活用がはかれればと考えます。そのために国体・障スポ・ワールドカップのイベントを通じて生まれた「スポーツ・ボランティア」への関心の高まりを、「グランディ 2 1 ボランティア」として継承していきます。

1. 制度の目的

- * グランディ 2 1 を利用した自主的活動を通じた県民・市民への広報・展開
- * 県民・市民の主体的なスタジアム運営への参加による施設理解の促進
- * スタジアムの運営負担の軽減と来場者へのサービスレベルアップ

2. ボランティア内容

< 活動内容 >

- * イベント運営ボランティア
 - = 宮城スタジアムで開催される各種イベントの運営の支援を行ないます。
- * 見学案内ボランティア
 - = スタジアムを中心とする施設の見学者の案内を週末に実施します。
- * 情報発信ボランティア
 - = 「いこうぜ宮城スタジアム」パンフレットの作成及びボランティア・ニュースの作成を通じて、ボランティア及びスタジアムの情報を発信します。さらに年1回全国のスタジアムにスタジアムアンケート(別紙に案)を実施し、結果をHP等で公開します。(アンケート実施母体はグランディ 2 1)
 - * その他、ボランティア主導の活動
 - = ボランティアの自主企画イベントの実施、自主的活動(グランディ全体の美化・環境整備に関するボランティア等)

< 実施組織 >

「グランディ 2 1 ・ボランティア」として今後広く募集します。登録メンバーのうち、ボランティアリーダーは全員ボランティア委員会に所属し、その中より委員長1名、副委員長1名のほか、各ボランティア活動ごとに班長・副班長を選出、会員の管理・連絡を担当する管理担当、会計担当・監査担当を選出、事務局を構成し活動計画の作成、組織の運営を行ないます。

< 募集内容 >

募集期間： できるだけ早い時期 ~ 2003年1月末日

募集人員： 特に決めません

研修： 2003年2月から3月に全体及び活動単位での複数回の研修を予定しています。

- 待遇： *
- = 昼食・交通費などは支給されません。ただし、イベント開催時の運営ボランティアについては、イベント主催団体との調整により決定されます。
 - * 制服は貸与いたします。
 - * 駐車場は用意いたします。
 - * 活動のための予算は、年間計画を作成し別途協議の上決定します。

申込み先： グランディ 2 1 「ボランティア募集係」

< ボランティア・センターの設置 >

2002年12月中旬にグランディ 2 1 施設内に「ボランティア・センター」を設置します。ボランティア登録メンバーの活動拠点として、さらには作業の場として活用されます。

< スケジュール >

- 12月中 ボランティア・センターの設置
ボランティア募集の開始 (~ 2003年1月末日)
- 2月上旬 ボランティア説明会及び発足会
事務局メンバーの選定
「いこうぜ宮城スタジアム」パンフ作成
- 2月 ボランティア研修会
- 3月 正式活動開始

ボランティアセンターの設置と運営について

ドラマティックプロジェクト@グランディ21 打ち合わせ合意事項

組織は柔軟で、かつ実行可能なものであること

1～2年でつぶれるような組織では意味がない。まずは実績のある組織に委ねる
運営に際してはできるだけ自由な活動を保証するものであること

ボランティアの自主的な活動を縛ることのないよう十分に考慮する必要がある
ボランティア特典を用意する必要があること

国体やW杯はそれ自体に夢があり、やりがいもあったが、グランディ21 ボランティアにはそういうものはないので、意識的に用意しないと誰も集まらない

1. 組織

ボランティアセンター外部評価委員会

ドラマティックプロジェクト@グランディ21 委員会

ボランティア委員会

委員会は定例会を毎月開催する。委員全員のうち1/3以上の出席が必要。

委員長1名、副委員長1名、各ボランティア活動ごとに班長・副班長

事務局 = 会員の管理・連絡を担当する管理担当、会計担当

その他、監査担当

平成14年度末までは、JAWOC ボランティア「エキポ・ミヤギ」、障害者スポーツ大会ボランティア、キックラブ・アクティブを中心にコアボランティアから委員長他を選出。平成15年4月に総会を開催して、正式な組織を発足。

平成14年度組織案（暫定組織）

ボランティア委員会（発足時、公募に応募したコアボランティアを適宜入れていく）

委員長 = 村松淳司¹⁾

副委員長 = （空席） 公募に応じてコアボランティアを入れていく

事務局

公募担当： 中村彰宏²⁾

管理担当： 野坂幸子¹⁾

会計担当： 高橋広美¹⁾

班長複数名（ボランティア活動内容毎に少数の班を結成する）

ボランティアリーダー： 所定の研修を終えた者はボランティアリーダーとなる

注：1) キックラブ・アクティブ、2) JAWOC ボランティア = エキポ・ミヤギ

2. 運営

運営日： 原則として土曜日、日曜日の午前10時～午後5時

平日でも活動できるが、時間帯は午前10時～午後8時までとする。

運営方法

(1) 登録

ボランティアセンターに任務する者は予め登録する。毎時、必ずボランティアリーダー一人は詰める。

(2) 開閉： 登録者は当日9時半までにグランディ21事務所（総合体育館受付）に来て鍵を受け取り、原則同じ者が5時までに鍵を返却する。

(3) 活動

活動はボランティアの自主性を重視したものにし、業務で縛らないように特に注意を要する。自主的な活動とは例えば、養護学校の競技大会補助、小学生の障害者スポーツ体験（セカンドスクール）など、グランディ21の施設を利用した幅広い活動を意味する。

そのための日常的な活動としては、

1) ボランティア活動計画を練る

- 2) 自主的な活動の実践
- 3) 予定されているワールドカップ記念イベント、国体記念イベント等の計画を練る
- 4) 見学案内ボランティア：見学コース希望者に対して随時実施（実施方法は見学案内ボランティア班で決める）
- 5) 情報発信ボランティア：ホームページ作成や広報誌、「行こうぜ宮城スタジアム（仮称）リーフレット作成（実施方法は情報発信ボランティア班で決める）
- 6) 活動日誌： 気づいたことを日誌に書く
- 7) その他

が、あげられるが、詳細はボランティア委員会で決定することとする。

(4) 反省会など

定期的に反省会を開き、ボランティア活動報告書を毎月作成する。

3. 募集

募集主体： グランディ 2 1

募集方法：

マスコミへの投げ込み、各種広報手段

国体、障スポ、W杯（JAWOC, 開催地）の各ボランティアに郵送で連絡

名簿リストの作成は暫定ボランティア委員会が行う

宮城県社会福祉協議会、利府町社会福祉協議会経由の募集

利府町役場経由の募集

など

募集経費支出： 郵送代等（スポーツ健康課と相談）

4. 研修

研修内容はボランティア同士で相談して決定する。ただし、グランディ 2 1 の見学等基礎的な研修は必ず入れる。

研修主体： ボランティアセンター

研修協力： グランディ 2 1

5. ボランティア活動とボランティア特典

上記のように、詳細はボランティア委員会で決定することとするが、下記にはグランディ 2 1 ボランティアとしての特典を含めた活動計画（平成 1 4 年 1 1 月現在）を記載する。なお、ワールドカップ記念イベント等は宮城県として実施の方向であるので、ボランティアとしてその運営にたずさわる必要がある。

各種イベントの開催

下記のイベントをグランディ 2 1 主催（宮城県共催）で実施し、運営にグランディ 2 1 ボランティアがたずさわる。これにより、イベント運営ボランティアの実習となるだけでなく、ボランティアをする人に対する特典に該当させる。

(1) ワールドカップ開催記念フットサル大会の実施（5～6月頃）

大会参加者は宮城県民から広く募集し、運営のかたわら、ボランティアも積極的に参加する。

宮城スタジアムをメイン会場にしてフットサル大会を行う。種別は 国際フットサル大会（宮城県在住の外国人チーム同士の対抗試合、当然日本チームも参加するが、日本チームとしてボランティアチームが複数入る）、少年フットサル大会（中学生以下の少年による対抗試合）、EXHIBITION マッチ（ベガルタ仙台あるいはソニー仙台の選手による記念試合）

(2) 国体開催記念グランディ 2 1 の 1 日開放（10～11月頃）

大会参加者は宮城県民から広く募集し、運営のかたわら、ボランティアも積極的に参加する。

グランディ 2 1 を 1 日開放し、見学案内ボランティアとしての知識を深めるとともに、今後の運営などについて自由な意見を求めるためにも必要。

陸上競技、室内競技、水泳などが自由に行えるようにし、自らが体験する中で長所・短所などを洗い出す。また、擬似障害者スポーツ体験をしながら、バリアフリーについての知識を深める。なお、可能なら障害者を招待して行う。

種目は、車椅子バスケット、車椅子サッカー、バリアフリー水泳、車椅子レース(1000mトラック等)など

その他、たとえば 県民の森ウォーキング大会(県民の森を含む約 8 km のウォーキング大会)、 グランディ 2 1 オリエンテーリング大会などを開催。

ボランティアの集いの開催

花見などの実施。グランディ 2 1 公園部分での開催。

あるいは加瀬沼公園での芋煮会など

イベント時の主催者からのボランティア特典

イベント運営を補助したときの特典(ボランティア側からは求めない)

その他

注意: ボランティアだからといってグランディ 2 1 の施設を無料で自由に使うことは許されない